Creative Enzymes®

可溶性エポキシドヒドロラーゼ

Cat. No. EXWM-3995

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トランス置換エポキシド、例えばトランススチルベンオキシドや脂肪酸代謝から派生したさまざまな脂肪族エポキシドの加水分解を触媒します。これはアラキドン酸エポキシド（エポキシイコサトリエン酸; EETs）およびリノール酸エポキシドの代謝に関与しています。内因性の化学メディエーターであるEETsは、血□を調節するために血管、腎臓、心臓のレベルで作用します。哺乳類由来のこの酵素は二機能性酵素であり、C末端ドメインはエポキシド加水分解酵素活性を示し、N末端ドメインはEC 3.1.3.76、リピッドリン酸ホスファターゼの活性を持っています。EC 3.3.2.9、ミクロソームエポキシド加水分解酵素と同□に、この反□はヒドロキシアルキル-酵素中間体の形成を伴う可能性があります。この酵素はまた、EC 3.3.2.6、ロイコトリエンA4加水分解酵素の基質であるロイコトリエンA4を使用することもできますが、生成物としてロイコトリエンB4ではなく5,6-ジヒドロキシ-7,9,11,14-イコサテトラエン酸を形成します。脊椎動物では、これまでに5つのエポキシド加水分解酵素が特定されています：EC 3.3.2.6（ロイコトリエンA4加水分解酵素）、EC 3.3.2.7（ヘポキシリンエポキシド加水分解酵素）、EC 3.3.2.9（ミクロソームエポキシド加水分解酵素）、EC 3.3.2.10（可溶性エポキシド加水分解酵素）、およびEC 3.3.2.11（コレステロール5,6-オキシド加水分解酵素）。
別名	エポキシドヒドラターゼ（あいまい）; エポキシドヒドラターゼ（あいまい）; アレーンオキシドヒドラターゼ（あいまい）; アリルエポキシドヒドラターゼ（あいまい）; トランススチルベンオキシドヒドロラーゼ; sEH; 細胞質エポキシドヒドロラーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.3.2.10
CAS登□番号	9048-63-9
反□	エポキシド + H2O = グリコール
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。お客□の仕□に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。